

# 獨協医科大学病院 女性医師支援センター 講演会

日時：平成24年11月10日(土) 14:30~16:30 (受付14:00~)

場所：獨協医科大学 関湊記念ホール (入場無料)

対象：県内医師、獨協医大職員、医学部学生のほか医師に限らず男女共同参画・女性のキャリア形成に興味のある一般の方。

## プログラム

### 基調講演 「キャリア継続の道しるべ」

つだ たかこ  
津田 喬子先生 (名古屋市立東部医療センター名誉院長・日本女医会 会長)

### 特別講演 「女性医師とともに生きる

—夫として、同僚として、上司として—

ふじ まき たか みつ  
藤巻 高光先生 (埼玉医科大学医学部脳神経外科教授)

#### アクセスMAP



主催：獨協医科大学病院 女性医師支援センター  
内閣府、男女共同参画推進連携会議  
後援：栃木県産婦人科医会、栃木県医師会  
栃木県女性医師支援センター  
自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター

●お問合わせ先● 獨協医科大学病院女性医師支援センター

Tel : 0282-87-2098 Fax : 0282-87-2097 E-mail : clover@dokkyomed.ac.jp

※託児サービス有 / 事前に上記まで電話にてご予約ください。(月~金 9:30 ~ 15:30)

※駐車場無料 / 学生駐車場をご利用ください。

## 女性医師支援センター講演会を終えて

大学病院女性医師支援センター

11月10日(土)、創立30周年記念館関湊記念ホールにおいて、女性医師支援センター講演会が開催されました。

健全で豊かな医療体制の実現に向けて男女共同参画の意識の向上をめざしていくことを主旨とし、医師のみならず男女共同参画・キャリア形成に興味のある一般の方々にも幅広く広報しました。

基調講演として、名古屋市立東部医療センター名誉院長・名古屋市病院局スーパーバイザー・日本女医会会長の津田喬子先生から「キャリア継続の道しるべ」という演題で、医師や医学生がキャリア継続するために何をなすべきかというお話をいただきました。先生は国内外の多くの人々と出会い、支えられながら麻酔科医としてキャリアアップされ、

2年間の名古屋市立東部医療センター院長時代には、24時間・病後児保育可能な院内保育所を設立するという大きな仕事を成し遂げられました。「医師という職業は男女ともに、生涯職業であるべき」という信条の下、医師としての社会貢献の大切さを強調されると同時に、「明日は明日の風がふく」を胸に、時にはアクセルを緩めることがあってもいいから、ずっと踏み続けることがキャリア継続につながると述べられました。

埼玉医科大学医学部脳神経外科教授の藤巻高光先生からは、「女性医師とともに生きる－夫として、医師として、上司として－」という演題で特別講演を賜りました。先生は女性医師の奥様との結婚生活の中で、医師としての立場を理解し、尊重し合いながら深い絆で結ばれた家族になっていっていると話され、仕事と時間に追われる日々の中で、女性医師の夫として家事・育児への協力が妻のキャリア形成のために不可欠であると述べられました。また上司として、部下の産休・育休中には、自身の実体験を生かした医局管理でマンパワー不足を乗り越えられ、働きやすい職場環境整備のために尽力なさっている様子が観えました。

お二人のパワーあふれるお話を拝聴し、女性医師のみならず医療職全ての人が安心して生き生きと働くことができるよう、ワークライフバランスを考慮した勤務環境作りをめざして活動してまいりたいと改めて思いました。本講演会開催に当たり、大学内外の多くの方々にご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。お忙しい中、ご参加くださいました皆様方、本当にありがとうございました。

なお、今回の講演会は、国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業として、内閣府と男女共同参画推進連携会議との共催で開催いたしました。12月11日(火)に行われる総理大臣官邸での第31回男女共同参画推進連携会議(全体会議)において報告する予定です。

最後に参加者の方々からの感想の一部を紹介させていただきます。

- ・女性だけでなく、男性医師（教授や医局長クラスのDr.も）こそ参加してほしいと思いました。
- ・医師として、キャリア形成についてもっと考えなければいけないと改めて感じました。漠然と育児の時期には仕事から離れてもいいかと考えていましたが、どんな形でも仕事を続ける、続けられる方法を考えたいと思いました。
- ・津田先生の話にもあるようにキャリア継続について学生時代からの教育が必要と思います。

